

平成29年度兼松フェローシップ

神戸大学経済経営研究所は、公益財団法人兼松貿易研究基金及び兼松株式会社と兼松フェローシップ委員会を設置し、経済学・経営学及び会計学の分野における大学院生の研究を奨励することを目的として、懸賞論文を募集しております。

大学院生 懸賞論文募集

応募資格：経済学・経営学・会計学専攻の大学院生（専門職大学院生も含む）

授賞対象：経済学・経営学・会計学の研究領域における重要な主題について将来の発展が期待できる独自の貢献をしたと認められる論文。

※開発経済学分野の優れた研究には併せて「西島賞」を授与する。

提出期間：**平成29年10月2日から10月31日（必着）**

奨励金等：入賞者には10万円を贈呈し、RIEBジュニア・リサーチフェローの称号を付与する。入賞論文は、当研究所のDiscussion Paperとして発行する。会計学に関する英語論文は、The Japanese Accounting Reviewに査読付論文として掲載可能である。原則として応募論文は3名の専門家により査読を行う。査読レポートは審査結果とともに送付する。



神戸大学経済経営研究所
Research Institute for Economics and Business Administration, Kobe University

公益財団法人兼松貿易研究基金



【照会先】 神戸大学経済経営研究所内兼松フェローシップ委員会

詳細はウェブサイトに掲載しています <http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/academic/fellow/2017/index-j.html>